

こんだん会〈資料〉

令和2年9月3日
たんぼぼ学級

学級目標

- 仲良く遊べる子—友だちと楽しく遊べる子
自分から遊びを要求できる子
- 最後までやりぬく子—自分のできることは最後までやりとげる子
失敗してもできなくても、挑戦できる子
- じょうぶな子—たくさん運動して、いつも元気な体の子
- ※ 元気にあいさつのできる子
自分の気持ちや意見を伝えられる子

お家でも・・・

◎ 家族の一員として家の仕事を分担してください。

- ・できそうなものを相談して決めてみてください。
例えば、食器片づけ、靴ならべ、ふとんひき、ごみすて、風呂掃除、洗濯物たたみ、洗濯物干し、上履き洗い…など。
⇒できれば、毎日続けてできるものにチャレンジさせてください。

◎ 心と体の発散の場面をつくってください。

- <例>
- ・散歩、公園遊び、自転車乗り、スキンシップ遊び、
 - ・料理、お菓子作り（おうちの方の得意な分野で）
 - ・手先を使った遊び—粘土、ひも通し、ひも結び（くっひも結び、縄飛び結び など）
 - ・工作
 - ・好きなことをたっぷり楽しむ。

いろいろな取り組みで独自の楽しいことをみつけましょう。

◎ 良いこと悪いことの判断をしっかりと教えてください。

- ・発達段階もありますが「わざとする」という行為がみられる段階でしたらきちんと子どもと向き合ってください。
- ・人を傷つける行為（暴力的なもの、言葉）
- ・人の物を勝手に触る、持ち去る、隠す行為
- ・物を大切にしない行為
- ・人の物と自分の物の区別
- ・物を使う時は「貸してください」返すときは「ありがとう」

◎ 自分のことは自分でできるように。

- ・洋服の整理整頓（自分の服をハンガーにかける、など）
- ・甘えなのかまだできないのか、見極める大人の洞察力が試されます。
⇒できることなら、時間をかけて待ちます。
- ・自分の持ち物の管理（用意は親だけでなく子どもと一緒に）
⇒忘れたら次回はどうするか・・・
- ・鉛筆を削る、ふでばこの中は毎日親子で点検をします。
- ・ハンカチ、ちり紙はすぐに使えるように必ずポケットに入れておきます。
- ・公共の場での過ごし方を考えさせます。
（声の音量、人との距離感、身支度、トイレの仕方など）

交流について

休み時間、給食（全校）、掃除、学校行事、学年行事、計画的な交流を通して各々の学年や全校のお友だちと交流していきます。
*金曜日の交流給食については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況をみながら実施を検討中です。また、実態に応じて工夫していきます。

- ★まずはお子さんを丸ごと受け止めることが必要です。
（期待感を持って接することもあるかと思いますが、強制や強要が強いと一見できるかのように見えますが、無理が続くと必ずそれに抵抗（反抗）する気持ちが生まれ、一切前向きにやろうとしなくなることもあります。）
安心して、取り組める環境を、周りの大人が知恵を働かせて作っていきます。

学校での取り組みとその視点

生活面

- ・ 朝、帰りの支度を一人で行う子
- ・ 衣服の着脱を自分でやる子
(たたむ、ロッカーにしまう、前後の意識、靴下ボタン、ファスナーの練習)
* 中学へ向けて…Yシャツ、ベルトの着脱も。
- ・ 身なりを整えられる子 (シャツのすそを入れる、えりの処理など。)
- ・ トイレに一人で行ける子 (処理の仕方を考える。手を洗う習慣を身に付けさせる)
- ・ 食事のマナーを意識できる子 (姿勢、こぼさないで食べる、よくかむ、椅子に座って食べる、偏食の改善、口の周りをきれいにする、スプーンや箸の持ち方、食器の持ち方、きれいに食べる…など)
- ・ 給食の準備、あと片付けができる子
- ・ 食べた後、歯磨きができる子

学習面

- ・ 落ち着いて学習できるための前段階での取り組みを大切にします。
(毎日の体育でエネルギーを発散させます。
グループ遊びや好きな遊び、感触遊びを適宜取り入れます。)
- ・ 興味、関心、個性、特性、などに応じて導入の仕方を工夫し。意欲を持たせる。
(1対1、小グループ、全体、言葉がけ、視覚支援など)
- ・ 体育的、遊び的活動を中心に、集団で動ける力を育成します。
(個別支援から始まり、見通しをもって支援なく動けるように指導します。)
- ・ 各々の段階に応じた基礎学力、認知力を高めます。
- ・ 指示理解力を高めます。(自分に共感してくれる大人だ、話をよく聞いてくれる人だとお子さんに理解させるところから)

☆身の回りにある物の名称、具体物の名称
☆自分の名前、友だち、先生の名前
☆会話の中の言葉の意味

} などの理解も広げていきます。

- ・ 物や外界に働きかける力をたくましくしていきます。
☆ 手先を使っての創造活動、作業活動に年間を通して取り組みます。
☆ 場面の状況を理解させる機会を多くしていきます
- ・ 心も体も解放できる音楽的活動を取り入れていきます。
☆ 手遊び、身体運動、踊り、歌、楽器など
- ・ 宿題に挑戦できる力を育てていきたいと思っています。
→ 希望するかどうか、本人と相談の上でお知らせ下さい。

行動面

- ・ まず、そのお子さんの行動パターンを観察した上で支援の方法を考えます。
- ・ なるべく自分から動ける力を大切にします。(意欲、やる気を大切にします)
- ・ 自分の周りの人が何をしているのか意識させます。
- ・ 善悪の視点はきちんと教えていきます。(言葉、暴力、片付け)
- ・ 自分の要求が出せる雰囲気作りにつとめ、生き生きと自分らしさが出せるようにします。
- ・ 自分の思い通りにならなくても、自分をコントロールする力を育てます。
(その前に自分の思いを言える子にしていきます)

学校が楽しいと感じられ、ひとつひとつ挑戦していくたくましい心と自分でやろうとする生活力をつけさせていきたいと考えています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<今日の流れ>

- 1、資料に沿っての話 (年間行事も含む)
- 2、担任自己紹介
- 3、保護者自己紹介 「学年」「名前」「子どもの紹介」
- 4、そのほか



*おまけ：2学期の学校生活で大切にしたいこと (担任より)

- ・ 子ども達は心身共に成長しています。それに合う、接し方や捉え方をしていきます。
- ・ 子ども達の人格を認めたいので、より良い方向を目指していきます。
- ・ 自分の気持ちや感情を出せることを大切にします。そして、そこから…です。
- ・ やるべき時はやる力を身につけさせていきます。挑戦を後押しします。
- ・ 我慢する、折り合いをつける力を身につけさせていきます。
- ・ 自分から、人や物に働きかける力をつけさせていきます。
- ・ 整理整頓、基本的な生活習慣を身につけさせていきます。